

# 平成30年度 常置委員会だより NO. 3

## 教育・環境委員会編

北海道PTA連合会

平成30年12月14日（金）発行

平成30年12月1日（土）に、第3回常置委員会が開催され、家庭教育、親の学び・子の学び、各地区の様子等、今年度研究のまとめと次年度の方向性等について協議しました。

### （1）2020年度北海道ブロック研究大会函館大会の発表について

① 第2分科会を担当し、提言題等は以下のようにする。

- ・ 提言題 「家庭教育」

○人生100年時代における親の学び、子の学び

- ・ 具体的な提言内容等については、今後検討し、協議を進めていくこととする。

## 平成30年度教育・環境委員会 研究のまとめと次年度の方向性

### 1. 今年度の研究テーマ

「子どもとともに 大人も学び合い 心豊かな共育を目指して」

～子どものために、大人がどう行動するか～

### 2. 成果と課題

#### ① 成果

ア 平成30年度道P研究大会旭川大会

「情報化社会から子どもを守る活動」をテーマに、第5分科会「情報教育」において、講話と実践発表に基づきグループ討議による意見交流を行った。

小樽市立稲穂小学校事務主幹藤平繁範氏による講話では、はじめに今のネット社会に荒れた海に泳ぎ方を教えずに子どもたちを放り込むに等しいものであると指摘いただいた。そこから、親子で知識と経験にもとづく知恵をつけていくことと、子どもたちの居場所づくりをすすめていくこと、SNSの活用前に終わり方を知ることなどの重要性について、具体例をもとにわかりやすくお話しいただいた。釧路市PTA連合会長川辺大樹氏は、家庭のルールづくりの実践発表をしていただいた。PTA連合会で作成した原案をもとに各単Pで意見集約を進め、ルール作りを主体的に進めるよう工夫されたことと、家庭で話し合える親の構築によるルールの浸透を目指したこと、携帯販売会社にルール表を購入者に配布してもらうよう働きかけたことなどの取組が紹介された。グループ討議においては、どのグループも熱心な討議が行われ、高度情報化社会の急速な進展に大人がとまどい現状に対応が難しくなっている中で、知恵を習得するための取組の必要性や、家庭での話し合いを基盤として学校との連携を密にしていく必要性について意見交流が行われ、有意義なグループ討議となった。助言者からは、スマホやネット利用について、子どもへの伝え方や組織的な対応の必要性、ルールの浸透の仕方などを工夫して取り組んでいくことなどについて今後のPTA活動への示唆をいただいた。

2日目の全体会では、委員長より今年度の教育・環境委員会の研究内容及び活動概要についての報告を行った。

#### イ 各地区の実践交流について

今年度3回行われた委員会では、全道各地から委員を迎え、各地区の活動状況や取組内容、課題等について交流し、さらに2020年度の重点に向けたテーマ設定について議論を重ねた。

話し合いでは、鮭を使った料理教室などのふるさと教育の紹介や親の学びの進め方、学力向上の問題、親子の人間関係、学校の統廃合に伴う課題など様々な成果と課題について話し合われ、2020年度の提言発表に向けて積極的な意見交換が行われた。

### ② 課題

#### ア 親の学びのあり方について

委員会の話の中で常にキーワードとして存在してきたことは「親の学び」である。特に旭川大会の情報教育分科会で話し合われたように、子どもたちへの教えの前に親自身の学びの重要性について確認したところである。子どもたちが抱える様々な問題、課題に対して親自身の学び不足や現実に対する認識不足、とまどいが多く見られる。このことについて各地区ともどのように取り組むべきか、課題を抱えている。

#### イ 函館大会に向けて

3回の委員会を経て、2020年度函館大会に向けた方向性を定めた。今後、設定されたテーマの具体化と分科会の構成、提言発表の選定などの取組を計画的に進めていかなければならない。

### 3. 次年度の方向性

今年度、本委員会の研究テーマを刷新して、道P研究大会での2年サイクルによる提言発表への対応を円滑にできるようにした。これまでの研究内容を2つに整理統合し、交互に提言発表することにした。これにより、提言発表への取組、各単Pの研究活動が計画的に行えるようにした。

次年度は、道P研究大会における実践発表はないため、2年後の2020年度函館大会に向けた研究活動の推進と、担当分科会の内容検討、提言発表担当PTAの選出等を計画的に進めていく。

#### ア 研究内容1 子どもの教育活動

2020年度大会の提言内容である。各地区のPTAはこの内容に基づき、生活習慣改善を目指す活動と心を育てる活動に2点について、研究・実践を積み重ね、その活動を通して親の学びにおける成果と課題の共有を進めていただきたい。

#### イ 研究内容2 大人の環境整備活動

2022年度大会の提言内容である。人口減少、学校の統廃合が進む中、安心安全な地域づくり、子どもたちを守り育てるための研修など、各地区において研究・実践を進めていただきたい。

\*「常置委員会だよりNO. 3」は、道P連のホームページ  
「常置委員会 2018年度」に掲載します。(12月下旬にHP掲載)



北海道PTA連合会事務局

〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目  
共栄火災ビル7階

TEL (011) 251-6937 FAX (011) 210-0929

Eメールアドレス [info@hokkaido-pta.jp](mailto:info@hokkaido-pta.jp)